

清川村立小中学校のあり方検討会（書面開催の意見概要）

<意見>

- ・小中一貫教育が必要と考えるが、行政と保護者を中心とした準備委員会等の設置が必要と思う。
- ・宮ヶ瀬住民への説明が重要
- ・子どもの居る家庭の意見が一番大事
- ・今後の児童、生徒数の推移を考え、より効果的な教育環境を整えるには、新たな小中一貫校を検討するのが一番の選択肢と思う。
- ・学校は地域コミュニティの場であることも考慮し、宮ヶ瀬地区の住民には親切丁寧な説明をお願いしたい。
- ・先の話になるが、新たな学校の設置場所や校舎の設計については、宮ヶ瀬地区住民を十分に考慮した建物をお願いしたい。
- ・長寿命化の改修、維持費と新築工事費を比較しても、新築の方がコスト減できることから、新築が望ましいと考える。
- ・新築することにより、現代の教育に望ましい環境、施設になると考える。
- ・子どもの人数の推移を見極めて進める必要があると考えます。
- ・子どもファーストの観点から考えると、宮ヶ瀬小中学校と緑小中学校の統合は妥当であると考える。
- ・研究会は保護者中心で行われており、その結果を尊重したい。
- ・新たな校舎を建設する場合、校庭の広さを十分に確保できることが望ましい。（要検討である）
- ・宮ヶ瀬からの通学が不便にならない様に対策をしてほしい。

<中間まとめ>

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 現在の幼稚園、小中学校を維持し、校舎の長寿命化を図る。② 幼稚園、緑小、緑中で施設一体型幼小中一貫校を新設する。③ 施設一体型幼小中一貫校の新設を実施すると共に、宮ヶ瀬小中学校との統合を検討する。④ 宮ヶ瀬小中学校を含め、村内幼小中一貫校を新設する。⑤ その他 |
|--|

※上記選択肢により各委員から意見を聴取

- | | |
|------|----|
| ③又は④ | 1名 |
| ④ | 5名 |
| 未回答 | 1名 |